

## ○目標を達成するための具体的な取組状況【揖保川】

(○：H28取組に具体的な成果例あり ●：H28取組で具体的な成果例なし -：H28取組対象外)

項目	取組実施機関						H28実施内容	H28成果 青字：資料2-2で国が取組事例として報告 赤字：資料2-3で各機関が取組事例として報告	H29以降継続内容	最終目標	備考
	国	兵庫県	宍粟市	たつの市	姫路市	太子町					
1. 情報伝達、避難計画等に関する事項											
最大規模洪水を対象とした洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの策定、公表	○	-	○	-	-	-	・揖保川(国管理区間)におけるL2浸水想定区域図の作成、公表(ホームページ、紙閲覧) ・L2浸水想定区域図を作成、公表中【国】 ・破堤点毎の浸水状況図を各自治体に配布【国】 ・CGハザードマップを公表中(L1規模)【県】	・ホームページ等による公表の継続 ・公共施設等への掲示 ・揖保川(県管理区間)におけるL2浸水想定区域図の作成(H30以降)	・地域住民の認知度向上		
地域住民及び学校等への水災害教育の実施	●	-	○	○	○	○	・宍粟市総合防災訓練(千種町全域 参加者:2,068名)、山崎町防災訓練(山崎町河東地区 参加者:2,486名)、一宮町防災訓練(染河内地区 参加者:1,144名)の他、各自主防災組織毎の防災訓練を実施【宍粟市】 ・3団体に対して水害時の避難に関する出前講座を実施【宍粟市】 ・市立豊田小学校区他3小学校区で防災訓練を実施(参加者:約1800名)【たつの市】 ・自主防災会等を対象に、防災に関する出前講座を10回実施し、延べ約650名が参加【たつの市】 ・市民、市内事業所従業員、福祉施設職員を対象とした「地域防災リーダー育成講座」(参加者:約40名)を開催【たつの市】 ・揖保川流域の27自治会で、防災訓練等を実施し、延べ3339人が参加【姫路市】 ・揖保川流域自治会等で防災に関する出前講座を8回開催し、延べ277人が参加【姫路市】 ・太田西地区自主防災組織で防災訓練を実施。関係機関等を含め、約750名が参加【太子町】 ・町立文化会館や飯倉公民館にて防災に関する出前講座を開催し、延べ約200名が参加【太子町】 ・西播磨広域防災拠点を活用した防災教育【県】	・地域単位の防災訓練の実施 ・出前講座の実施 ・小学校等における防災訓練(出前講座)の検討、実施 ・アニバーサリープロジェクトにおける浸水リスクの提供 ・県立高等学校等生徒を対象とした防災教育出前講座の実施	・定期的な防災訓練の実施 ・全小学生の水防災意識向上		
意識変化を確認するための手法(住民アンケート等)の検討・実施	●	-	●	●	●	●	・アンケート素案の検討	・アンケートの検討・実施、取りまとめ	・地域住民の浸水被害に対する意識向上の確認		
最大規模洪水を対象とした浸水CGの作成、公表	○	-	○	○	○	○	・市民意識向上につながるCG作成モデル地区の提案 ・モデル地区におけるCG作成支援 ・最大規模洪水を対象とした浸水ナビの公開 ・浸水CG(計画規模)の公表	・宍粟市本庁舎、宍粟市一宮市民局、たつの市本庁舎、たつの市新宮総合支所、姫路市網干西小学校、姫路市余部小学校、太子町石海公民館、太子町南総合センターにおけるL2浸水CGの作成【国、宍粟市、たつの市、姫路市、太子町】 ・最大規模洪水を対象とした浸水範囲等について、「浸水ナビ」HPにて情報公開【国】 ・計画規模洪水時の浸水CGを公表中【県】	・L2浸水CG作成対象地の拡大	・L2洪水生起時の具体的なイメージの啓発	
最大規模洪水を加味した洪水ハザードマップの検討・作成	○	-	-	○	○	○	・モデル地区におけるL2洪水時の避難検討	・モデル地区の展開 ・各市のハザードマップへのL2洪水反映	・各市のハザードマップに、L2洪水情報を反映		
タイムライン(案)の検証、及び改善に向けた検討	○	-	○	○	○	○	・タイムライン(簡易版)の運用 ・タイムライン(チェックリスト版)の作成、共有	・最新版タイムラインの活用 ・タイムラインを用いた防災訓練等の実施 ・地域の現状に即したタイムラインの作成を検討 ・タイムライン検討会(仮称)による拡充	・関係機関を含めた、タイムラインの共有		
避難判断水位、氾濫危険水位等の検証及び見直し	○	-	(○)	○	○	○	・避難判断水位、氾濫危険水位の検証 ・避難判断水位、氾濫危険水位の検討(県管理区間)	・課題となる出水が無かったため、現行水位の見直しは未検証【国・宍粟市、たつの市、姫路市、太子町】 ・「危険水位等の設定要領(改訂版)」に基づき、各水位を県管理河川において設定【県】	・設定水位と避難状況に乖離が見られる場合は、設定水位の再検討を行う ・県管理区間で新たに設定した水位の運用を実施	・避難意識にリンクした水位設定	
広域避難も含めた、避難場所及び避難経路の検討	●	-	●	●	○	●	・L2洪水発生時の、避難場所検討	・避難所ごとの浸水深のデータの把握【姫路市】	・避難場所や避難経路について、検討を行う。 ・避難経路の検討に必要な情報提供等の支援を行う。	・市域を越えた避難状況を想定した計画策定を行う。	
地域防災計画の検討、更新	○	-	●	○	○	○	・地域防災計画の更新及び公表【宍粟市、たつの市、姫路市、太子町】 ・市域から離れた水位観測所である林田川「豊」水位観測所を非難の目安として市地域防災計画に位置づけた【姫路市】 ・福知山市の視察および意見交換【国、県、宍粟市、たつの市、姫路市、太子町】	・地域防災計画の更新及び公表	・地域防災計画へL2洪水の反映		
協議会参加機関のホームページ等を活用した、情報提供内容の検討	○	-	○	●	●	●	・L2浸水想定区域図の公表 ・防災情報の発信	・提供する防災情報の拡充	・ホームページ等で分かりやすく防災情報を提供する		

## ○目標を達成するための具体的な取組状況【揖保川】

(○：H28取組に具体の成果例あり ●：H28取組で具体の成果例なし -：H28取組対象外)

項目	取組実施機関						H28実施内容	H28成果 青字：資料2-2で国が取組事例として報告 赤字：資料2-3で各機関が取組事例として報告	H29以降継続内容	最終目標	備考
	国	兵	兵	兵	兵	兵					
	国 道 事 務 所	揖 保 川 支 所	兵 庫 市	兵 庫 市	兵 庫 市	兵 庫 市					
発表対象区域や避難の切迫性等が住民に伝わる洪水予報文、伝達手法の検討	-	-	-	-	-	-	-	-	・出水により、発表した洪水予報文では住民の反応が悪い等の状況であれば、理由を検証し、必要に応じて洪水予報文や伝達手法を見直す。	・発表した洪水予報等の情報が、地域住民に伝わるようにする。	
スマートフォン等を活用したプッシュ型情報の発信・普及活動の検討	○	-	○	○	○	○	・プッシュ型配信の実施調整 ・ひょうご防災ネットによる情報発信	・プッシュ型配信を実施にむけた調整を実施【国・兵庫県、たつの市、姫路市、太子町】 ・ひょうご防災ネットによる情報発信【県、兵庫県、たつの市、姫路市、太子町】	・配信内容の検証 ・プッシュ型配信を用いた、防災訓練の実施 ・ひょうご防災ネットによる情報発信	・防災情報発信時に、住民が必要な情報を得られる手段を増やす。	
外国語に対応した情報提供の実施	-	-	-	-	-	-	-	-	・モデル自治体ホームページにて、外国語版防災ページを検討	・外国人に対しても、防災情報を発信できるようにする。	
「自主防災組織で避難誘導にあたる人材」の育成	●	-	○	●	●	●	・地域防災リーダー育成講座を実施 ・ひょうご防災リーダー講座を開催	・市民、市内事業所従業員、福祉施設職員を対象とした「たつの市地域防災リーダー育成講座(参加者:40名)を1月に実施。【たつの市】 ・ひょうご防災リーダー講座を実施【県】 ・地域版ひょうご防災リーダー講座(H28中播磨)を実施【県】 ・ひょうご防災リーダーフォローアップ研修を実施【県】	・自治体等で実施している防災リーダー育成研修等を実施	・市役所職員に頼らずに、住民自らが避難できる態勢の構築	
避難行動要支援者に対する、避難計画の作成	(○)	-	(○)	●	●	●	・要配慮者施設における避難計画作成説明会の実施 ・要配慮者施設における、避難計画の検討 ・市内福祉施設等の実態調査の実施	・要配慮者利用施設の管理者向けに水害や土砂災害時の適切な避難行動に関する説明会を実施【国・県】 ・要配慮者が入所又は利用する福祉施設の実態調査を実施し、各施設の状況に応じた防災訓練を含む避難計画の作成と地元自主防災組織等との協力関係の構築を目指す。H28は14施設に対して実施【兵庫県】 ・要配慮者利用施設管理者向けに、水害・土砂災害における適切な避難行動について理解を深めるための説明会を開催【県】 ・H29.3月に説明会を実施【県】	・要配慮者利用施設の避難計画について、地域防災計画等への反映	・自宅等に居住する要配慮者に対する避難計画の策定	
要介護者に対応可能な、避難誘導の検討	●	-	●	○	●	●	・市内福祉施設等の実態調査の実施	・要配慮者が利用する福祉施設の実態調査を実施し、各施設の状況に応じた防災訓練を含む避難計画の作成と地元自主防災組織等との協力関係の構築を目指す。H28は14施設に対して実施【兵庫県】	・高齢者が避難可能な状況を整理 ・モデル地区における、避難誘導の実施検証	・誰もが安全に避難可能となる計画の策定	
市町が主催する防災訓練の検討、実施	●	-	○	○	○	○	・防災訓練の実施 ・自主防災組織等に対する活動支援(避難訓練、防災マップづくり、防災研修等)	・兵庫県総合防災訓練(千種町全域 参加者:2,068名)、山崎町防災訓練(山崎町河東地区 参加者:2,486名)、一宮町防災訓練(染河内地区 参加者:1,144名)の他、各自主防災組織毎の防災訓練を実施【兵庫県】 ・市立豊田小学校区他3小学校区で防災訓練を実施(参加者:約1800名)【たつの市】 ・揖保川流域の27自治会で、防災訓練等を実施し、延べ3339人が参加【姫路市】 ・太田西地区自主防災組織で防災訓練を実施。関係機関等を含め、約750名が参加【太子町】	・水防を意識した防災訓練の実施 ・学校単位の浸水訓練の検討 ・自主防災組織等に対する活動支援(避難訓練、防災マップづくり、防災研修等)	・多数の住民が参加し、実感できる水防災訓練の実施	
最大外力洪水又は計画規模洪水を対象としたマイ防災マップ等の更新、作成	●	-	○	○	○	●	・自主防災マップ作成講習会の開催 ・マイ防災マップの作成 ・自主防災組織等に対する活動支援(避難訓練、防災マップづくり、防災研修等)	・計画規模洪水での浸水範囲全ての地区(小学校区毎に市内5会場)で、「自主防災マップ作成講習会」を開催し、51自主防災会から183名が参加した。講習会後は各自主防災組織に対するフォローアップを行った。【兵庫県】 ・たつの市ひばりヶ丘自治会で、地区防災計画作成に併せてマイ防災マップを作成【たつの市】 ・自主防災組織等に対する活動支援(避難訓練、防災マップづくり、防災研修等)を実施【県】	・マイ防災マップ作成支援 ・マイ防災マップ未作成地域での作成 ・マイ防災マップ作成地域の更新 ・自主防災組織等に対する活動支援(避難訓練、防災マップづくり、防災研修等)	・浸水の可能性がある全ての地域で、マイ防災マップの完成もしくは避難所、避難経路の周知	
関係機関と協力・連携した普及啓発活動(出前講座等)の実施	●	-	○	○	○	○	・出前講座の実施 ・地域防災リーダー育成講座の実施 ・自主防災組織等に対する活動支援(避難訓練、防災マップづくり、防災研修等)	・3団体に対して水害時の避難に関する出前講座を実施【兵庫県】 ・自主防災会等を対象に、防災に関する出前講座を10回実施し、延べ約650名が参加【たつの市】 ・市民、市内事業所従業員、福祉施設職員を対象 1回実施 約40名参加【たつの市】 ・揖保川流域自治会等で防災に関する出前講座を8回開催し、延べ277人が参加【姫路市】 ・町立文化会館や鼓ヶ原公民館にて防災に関する出前講座を開催し、延べ約200名が参加。災害に備えるための知識を伝えることができた。【太子町】	・連携して出前講座を実施 ・出前講座依頼方法の検討 ・自主防災組織等に対する活動支援(避難訓練、防災マップづくり、防災研修等)	・住民の防災意識を高める	

○目標を達成するための具体的な取組状況【揖保川】

(○：H28取組に具体の成果例あり ●：H28取組で具体の成果例なし -：H28取組対象外)

項目	取組実施機関						H 2 8 実施内容	H 2 8 成果 青字：資料2-2で国が取組事例として報告 赤字：資料2-3で各機関が取組事例として報告	H 2 9 以降継続内容	最終目標	備考
	国	兵庫県	たつの市	姫路市	太子町	国・姫路河川国道事務所					
<b>2. 水防に関する事項</b>											
若年層の消防団加入促進を図る普及啓発活動を実施	●	-	○	○	○	○	○	・消防団への加入啓発 ・消防団員の拡大をめざし、加入促進活動を実施【姫路市】 ・ポスター等の掲示【兵庫県、たつの市、姫路市、太子町、県】	・加入促進活動の実施 ・ポスターの掲示等	・消防団員の増加	
重要水防箇所を姫路河川国道事務所ホームページ等で公表	○	-	(○)	-	-	-	-	・重要水防箇所を事務所ホームページに掲載 ・重要水防箇所(県管理区間)を県ホームページに掲載 ・重要水防箇所を事務所ホームページで公開【国】 ・重要水防箇所(県管理区間)を県ホームページで公開【県】	・出水の影響や、河川整備により重要水防箇所を見直す ・更新した重要水防箇所について、関係機関に情報共有すると共にホームページで公表する ・河川整備の進捗に応じ重要水防箇所を更新し、県ホームページへ掲載	・水害リスクのある箇所を、住民の方に共有する。	
関係者による重要水防箇所等の共同点検を実施	○	-	○	○	○	○	○	・重要水防箇所等について、共同点検を実施 ・H29.1月に重要水防箇所等を共同で確認した。【国・兵庫県、たつの市、姫路市、太子町】 ・H28.7月～8月に重要水防箇所(県管理区間)を共同で点検【兵庫県、たつの市、県】	・住民を交えた共同点検を実施する ・河川管理者と自治体による点検を継続する	・水害リスクのある箇所を、地域と共有する。	
洪水時のCCTVによる堤防監視、施設監視の強化	○	-	-	-	-	-	-	・既設CCTVでは確認出来ない範囲の確認【国】 ・既設CCTVで確認出来ない箇所に対する新設CCTV等の設計を実施【国】	・氾濫の可能性がある箇所について、状況把握できるようにする。	・洪水時に、越水状況等を把握するのに安全性を高める。	
洪水時に提供可能な水位データやCCTVの設置検討	○	-	-	-	-	-	-	・簡易水位計、CCTVの設置設計 ・揖保川左岸22.0k、右岸22.2k、右岸24.8k、左岸26.0k、右岸27.8kにおける簡易水位計の設置設計【国】 ・河川監視カメラで水位状況等を情報提供【県】	・簡易水位計、CCTVの充実	・避難情報の発表、避難地域の検討に必要な情報を充実させる。	
河川管理者による水位予測情報の提供	○	-	○	○	○	○	○	・氾濫準備水位を超過した段階で、水位予測を各自自治体に提供 ・水位予測情報等(県管理区間)を各自自治体に提供 ・情報提供する水位に達しなかった。【国】 ・フェニックス防災システムで水位予測情報等(県管理区間)について、各自自治体に提供した。【県】	・各自自治体が必要とする水位において、水位予測情報を提供	・避難情報の発表、避難地域の検討に必要な情報を充実させる。	
水防倉庫等の配置計画を再検討	●	-	●	●	●	●	●	・水防倉庫等の配置計画を検討 ・水防倉庫等について、配置に関する意見等が無かったため未実施【国】	・水防活動に支障がないか、拠点の配置について検討を実施	・どの地域でも遅滞なく水防活動が可能となる配置計画の策定	
水防資機材の備蓄状況について、自治体に情報提供を実施	○	-	○	○	○	○	○	・水防資機材の備蓄状況について、水防協議会等で自治体と情報共有を実施【国】 ・水防資機材の備蓄状況について、関係自治体へ情報提供 ・無人航空機(ドローン)を導入し、災害発生時に活用する【兵庫県】 ・水防連絡会にて、水防資機材備蓄状況について情報共有している【県】	・水防協議会等で水防資機材備蓄状況について情報共有を行う	必要な時に、必要な資機材がどこにあるのかを	
<b>3. 氾濫水の排水に関する事項</b>											
氾濫水を迅速かつ的確に排水するための排水計画(案)の策定、見直し	○	-	-	○	○	○	○	・市庁舎等、防災拠点モデルの排水計画(案)の作成【国・たつの市、姫路市、太子町】 ・市庁舎における排水計画(案)の作成【国・市】	・排水計画を必要とする地域、施設について計画を拡充する	・L2浸水時に、早期の排水が必要な施設・地域に対して排水計画が策定されている。	
排水計画(案)に基づく排水訓練、及び関係機関との合同訓練の実施	-	-	-	-	-	-	-	-	・作成した排水計画を用いて、実際にポンプ車が配置可能か、訓練を実施する。	・各市域で作成した排水計画箇所訓練を実施し、実際に作業が可能である事を確認する。	
<b>4. 河川管理施設に関する事項</b>											
流下能力を向上させる事業の実施	○	-	-	-	-	-	-	・築堤予定箇所の買収、河道掘削の実施 ・今宿地区 河道掘削、築堤	・揖保川河川整備計画に基づき、計画的に整備を実施	・揖保川河川整備計画の目標流量を安全に流下させる。	
堤防天端の保護、裏法尻の補強等、危機管理型ハード対策の実施	○	-	-	-	-	-	-	・整備が必要な箇所に対する、対策の実施 ・天端舗装 L=8.9k ・裏法尻の補強 L=0.6k	・整備が必要な箇所に対して、対策を実施	・整備が必要な箇所の対策を完了する	
水防拠点となる施設の整備検討	●	-	-	-	-	-	-	・水防拠点となる施設の整備を検討 ・水防拠点となる施設について、意見等が無かったため未実施【国】	・整備候補箇所に対し、検討を行う。	・必要な水防拠点となる施設の整備	